



『里ガイドセミナー』 開催報告！

開催日時：平成27年2月25日 木曜日 第4回 午後1：30～

講師：東川 隆太郎氏 NPO 法人かごしま探検の会代表理事

ー第4回ー

『楠川集落』里あるき実地体験を行いました。『楠川集落』は歴史と伝統を重んじる集落であり、1時間30分程かけて歩き学びました。島内で古くからの文献が一番残っているのが楠川集落です。町指定文化財「楠川古文書」に記されている文献をクイズを交えながら紹介し廻りました。まずは、楠川公民館から出発。公民館横にあるお寺『本蓮寺』へ。『本蓮寺』は京都にある『本能寺』の分寺になるそうです。寺院内には、鰐口（わにくち）と呼ばれる音の出る楽器がありました。（鰐口とは仏堂の正面軒先に吊り下げられた仏具の一種です。）また供養と豊作を祈願して『棒踊り』も奉納されます。次に山川石で造られた『里恵比寿』へ。屋久島で2番目に古く、篤姫が産まれる一年前に建てられています。山川石は一部の採掘場でしか採掘されず貴重な石であり、昔はお殿様やお姫様しか使用されずにいたようです。楠川港近くにある『楠川天満宮』は菅原道真公が訪れたと言われ学問の神様として奉られています。楠川天満宮前にある岸に、中国より立派な金色に光輝く釈迦堂が漂流し、屋久島高校上の高台に奉られ宮之浦の街を見守もっていた事もあるそうです。『楠川港』はカツオ・トビウオ漁が盛んで鰹節を作っていた工場もあり、焼酎工場もあった様です。おそらくあわや麦で作られていたのでは。県道沿いにある『熊野神社』は和歌山県熊野にある、子宝の神様『熊野神社』の分寺もあり、神社をお参りすると無事に赤ちゃんが授かり安産出来ると祈願に訪れる人も多いそうです。『楠川城跡』は現地に伺うことは出来ませんでしたが、見晴らしのいい高台にあり、密輸船などの見張りには最適な場所でした。種子島に鉄砲が伝来し、島津家より、1丁1億する鉄砲を2丁購入したそうです。最後に『田代善太郎』氏について学びました。植物学に詳しい田代氏はウィルソン氏が来島した際に、屋久島の植物研究に同行しました。その後、国立公園としての登録や現在に至る世界自然遺産登録に大きな影響を与えた人物と言われているそうです。また、ガジュツの発祥地でもあります。普段何気にしか通らない街にも歴史があり学ぶ事ができ、里ガイドとして活かせる内容でした。

ー受講生の声

○忘れていた記憶を思い出させて頂きました。とても勉強になりました。（60代・女性）

○見どころ満載の楠川に驚きました。ガイドとして役にたちそうです。（50代・女性）

○深く掘り起こしていくことで魅力あるものになると感じました。（40代・男性）

※その他、多数ご意見・ご感想を頂きありがとうございました。